
マネージャー業

楓 紅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

マネージャー業

【Nコード】

N2195G

【作者名】

楓 紅

【あらすじ】

氷帝学園に辿り着いた飛鳥は榊監督と！そして、新たに始まる事件。お楽しみ下さい。

氷帝学園へとお使いにやってきた飛鳥。

そこで、待ち受けているのは、氷帝テニス部の生徒や教師。

飛鳥は、無事に青学へと帰って来る事ができるのであろうか・・・？

榊につれられた、飛鳥は、氷帝学園のテニス部の部室の中へとやってきた。

榊「それで？私に用事とは一体、何だ？」

「こちらを、竜崎先生より、預かってまいりました。」

書類を鞆から取り出しながら、飛鳥は説明をする。

榊「読ませてもらう間、部室の中をしばらく、見てくれるか？」

「構いませんよ。終わったら、声をかけてください。」

そういうと、部室内を見て回る飛鳥。

榊「・・・君は、本当に男なのか？」

榊が、飛鳥の後姿を見やり問いかける。

「？ええ。俺は、生物学上も、戸籍もちゃんとした男ですが？」

榊「そうか。勿体無い。」

「?!」

その時、飛鳥は、背中に、鳥肌が出るのを感じた。

榊「どうだね？氷帝学園に転校して来たら？」

「俺は、勉強に着いていく自信がありませんので、良いです。」

榊「勉強？何が、苦手か言ってごらん？もしかして、英語か？」

「いいえ・・・英語は、友達が教えてくれますから。」

そういった、飛鳥の顔は、氷帝で、初めて見せる笑顔だった。

榊「!・・・なるほど、やはり、君みたいな人間が、青学に居るのが間違いのようだ。」

「?何を言って？」

そういつて、振り返った、飛鳥の目の前には、榊の体があった。

「っ!・・・俺は、青学からは、離れません。」

睨みを効かし、相手を威嚇しながら、逃げ場を探す飛鳥。

榊「良い目をするが、誰かに飼われているのか？このキスマークの相手がそうか？」

そう言いながら、飛鳥の首筋に手を這わせる榊監督。

「俺は、俺の意思で、青学に残るんです。誰かのためじゃない。自分のためです。」

榊「良い目だ。だが、何時まで、持つ？」

そういつて、榊が、飛鳥の首筋を舐め始めた・・・。

「つつっ」

コンコンッ

榊「?!誰だ?」

侑士「監督。そろそろ休憩、したいんやけど、どないしたらええの？」

榊「跡部の意志に任せる。」

侑士「そんなん、わいに言われたって、しょうもないわ。わい、これから、試合です。」

榊「・・・今、出る。」

「・・・。」

部室をノックしてくれた男の人のおかげで、助かった飛鳥。

榊「これを、竜崎先生に渡してくれ。それで、君は、用事が済む。」

「ありがとうございます・・・。」

礼を言いかけた瞬間、飛鳥の口に、何かが触れた。

榊「・・・これは、リップサービスだ。受け取ってくれたまえ。それでは、行ってよし！」

「／／／」

突然のキスに、動揺を隠せずに、部室の扉を開け放ち、逃げ出す飛鳥。

侑士「お？誰ですか？監督？」

榊「青学のマネージャーだそうだ。」

侑士「あんなかわええこ。青学に居ったっけ？」

（・・・俺って、何で、こう、女みたいなんだ。嫌だ。嫌いだ。）

氷帝を抜けて、息をつく飛鳥。

カルピン「ほあー。」

「・・・猫？・・・プツ。アハハハッ！」

カルピン「ほあ？」

「ごめんごめん。笑うなんて失礼だったね。おいで？」

カルピン「ほあらー。」

ヒマラヤンが、飛鳥の足元に寄って来る。

「人懐っこいな。飼い猫ちゃんかい？」

ヒマラヤンをなでやり、問いかける飛鳥。

そういうと、そのヒマラヤンを、自宅へと連れ帰る飛鳥。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2195g/>

マネージャー業

2010年10月14日18時33分発行